



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：清水 裕 副会長：柏手 茂 幹事：森 誠司 クラブ会報委員長：瀬尾 光俊

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30
会場 ブランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2019年 9月 5日 第 3222 回 週報第 3222 号

本日 9月 5日	会員数 63名	対象者 61名	出席者 38(37)名	出席率 61.29%			
前々回 8月 22日	会員数 63名	対象者 61名	出席者 49(48)名	出席率 79.03%	MUP 0名	計 49名	修正率 79.03%

本日の卓話者ご紹介

大正大学元教授
宮澤正順様



卓話

「令和 ー特攻開始から 75 年に当たってー」

埼玉工業大学客員教授
文学博士・浄土宗勸学 宮澤正順

元号（年号）は中国で始まり、空間のみならず時間をも支配下に置くことを示すために一帝王の下で、災害や縁起を担いだりして幾つも設定された。我が国でもその思想を導入して、令和は二百四十八番目の年号です。この間の天皇は百二十五代です。

令和の令の文字は、初めは神のお告げを伝える形から生まれています。それがやがて君主や権力者の命令になり、神や君主や権力者の言葉であるから清く正しく美しく善い意味が付加されてきます。令和の令はその美的な意味で使用されています。漢字は一文字に複数の意味が含まれていることを確認しておいてください。後程漢文訓読の所でも取り上げます。

万葉集という国書から元号を採用したという政府関係者や国学者の声が強すぎると、野党や中国の思想・文学に詳しい漢学者から反発も生じた。

「初春の令月にして 気淑く風和らぎ 梅の鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫らす」と、王羲之の蘭亭の序・文選の張衡（78～139）の帰田賦の関係。

万葉集は、中国文化の影響を受けながらも、万葉仮名を生み出し、漢文を訓読するという同時翻訳法をあみだ

した。そこで漢文の中国学者では考えつかないような令和の二字をつくりだした。令和の文字の発案者は、国学者とされるのも納得できる。

万葉集の時代は、仏教が盛んであったのに仏教に関する歌がそれ程多くはない。それは飛鳥時代に仏教が伝来すると、崇仏派の蘇我氏と排仏派の物部氏が争うこととなり、結局は聖徳太子による仏教興隆となるのではあるが、万葉集を編纂した大伴家持は排仏派であった影響と言われる。

排仏の思想は、明治維新で攘夷・廃仏毀釈として復活する。検索の結果では、やがて神道は国教化政策により国家神道となり、軍国主義・国家主義と結びつき、天皇を現人神（あらひとかみ）として天皇制支配の思想的中心となった。その頃、鬼畜米英の語の下で先の大戦となり、敗戦終戦となる。来年が終戦七十五年、今年が特攻開始七十五年。今こそ令和の文字は【和ならしむ】【和せしむ】と訓読して、平和に殉じた4千人もの若者に誓いたい。外国と仲良くするためにも、西暦と元号を併用するのもよい。



清卓話を
会長と
終わら
しと記
念れ
て影

卓話者ご紹介

宮澤 正順（みやざわまさより）様
1931 年生まれ（現 88 歳） 厚木市妻田 西福寺住職

- (元) NHK 教育テレビ古典講座
大正大学教授
日本大学・駒澤大学・京都西山短期大学各講師
- (現) 埼玉工業大学特任客員教授
文学博士
日本道教学会・日中韓仏教交流会協議会理事
静寛院和宮奉讃会評議員

<著 書>

「素問・靈枢」「蕪村・一茶・漱石の浄土信仰」(明德出版社)
学位論文「曾慥の書誌的研究」(汲古書院)
監訳「中国の道教」(平河出版社)
共編「道枢一字索引」(松香堂)

<論 文>

中国道教・日中仏教・中国医学・食文化関係論等多数

幹事報告

◎地区大会ゴルフコンペの参加者登録のお願いを再度いたします。

日時:10月7日(月) 受付 6:30より

場所:相模原ゴルフクラブ

費用:¥23,710

登録費:¥5,000

参加ご希望の方は本日事務局までご連絡をお願い致します。

◎杉岡ガバナーより、北九州地方で起きた豪雨による被災地に対し、皆様からの義援金のご協力のお願いが来ております。義援金箱を回しますので、ご協力をお願いいたします。

◎第21回「平塚信用金庫ひらつか信友会」講演会のご案内を頂きました。

講師は東京大学名誉教授・学習院大学国際社会学部教授の伊藤元重(いとう もとしげ)氏をお迎えして、講演会が開催されます。

日時:令和元年10月17日(木)

午後2時30分会場 午後3時開演

会場:平塚市中央公民館

テーマ:「経済動向と企業経営」

3名のお申し込みができますので、ご希望の方は事務局までお申し出ください。

締切は9月12日(木)までです。

委員会報告

・雑誌委員会 石井允三幸委員長

1. 特集記事として来年の国際大会の開催地ハワイホノルル紹介があります。ご一読をお願いいたします。(横書き P18~31)
2. 次に横書きP36に米山記念奨学事業の基礎知識の記載があります。新会員やまだ会員歴が浅い方には参考になります。
3. 最後に今月号の「この人訪ねて」はミキハウス現社長の木村皓一氏です。中の文章の一部を紹介します。(縦書き9~12) {木村さんは1945年生まれで、3歳ごろにポリオにかかってしまう。ワクチンのない時代で高熱を出し、右足が動かなくなった。「僕の人生全部、そこに関わりますよ。」ポリオを克服することの厳しさ、そして喜びを、身を持って知った人なのである。その後も、身体を鍛え続けた。} その結果現在も自らもスポーツ、スポーツ振興、そして経営もバリバリやられているという記事です。



「ロータリーの友」9月号の記事のご紹介をされる石井雑誌委員長

・親睦委員会 平井敬規副委員長

花火例会に多くのご参加を頂きましてありがとうございます。前の例会時に、皆さんの力で雲を吹き飛ばして下さいとお願いしたところ、見事に花火大会開始前になくなりまして、米山委員長の用意した虹がとても印象的でした。

。皆さんの御協力により例会は大成功となりました。ありがとうございます。参加された方は、参加費を事務局にお支払い下さい。

・米山記念奨学委員会 山口紀之委員長

ロータリー財団と米山記念奨学会の特別寄付のご案内です。資料をご確認頂き是非ともご協力お願い致します。お支払方法は事務局までお知らせ下さい。来月より米山月間となります。奨学生たちも頑張っておりますので宜しくお願い致します。

・プログラム委員会 関口幸恵副委員長

9/12はビーチバレー選手の田中姿子(たなかしなこ)氏に卓話をお願いしております。田中様はバレーボール全日本代表選手として活躍され、ビーチバレーへ転向されました。ドーハアジア大会では金メダルを獲得されています。現在では、選手・指導者・コーディネーターとして世界中を回り活躍されています。今後のオリンピックや新種目等の話もされますので、皆さん楽しみに出席をお願いします。



誕生日祝いの小野会員と前田会員

メイクアップ (MUP) 2名

葛西敬会員、山口紀之会員

本日のスマイル 15名

ゲスト 1名

大正大学元教授 宮澤正順様

ビジター 0名

卓話・行事予定

9月12日(木) 2006年ドーハ・アジア大会
銀メダリスト 田中姿子様

9月19日(木) 田園調布学園大学・人間福祉学
講師 江島尚俊様

9月26日(木) 入会記念卓話 横山鉄生会員

市内例会変更 現在ございません。

